

苦小牧

【苦小牧】港灣運送業の苦小牧北倉港運（苦小牧）は、東南アジア向けに道内産の農水産品や加工食材の輸出を目指し、シンガポールに子会社を設立した。道産品の販路を開拓し、海外への輸出を後押ししたい考えた。

子会社設立 道産品の助路拡大

シンガポールは東南アジアの物流拠点で、道産食材の人氣が高い。同社は昨年11月、現地に全額出資の商社「トラフィコノルテ（スペイン語で『北の貿易商』の意味）」を設立。同社初の海外拠点で、スタッフは現地採用を含め3人。

子会社が市場調査などを行った結果、シンガポールの日本料理店では、冷凍ホタテやサケの切り身などへの関心が高いことが分かった。当面、こうした道産食品の輸出を目指す。取り扱い貨物が増えれば、首都圏の港などを経由せずに直接運べ、荷主の運賃負担の軽減にもつながられるという。

シンガポールの事業が軌道に乗れば、マレーシアやベトナムにも事業を広げる考えた。道経済部は「中国の上海や台湾に進出しては、道産品には海外市場に入り込めるブランド力がある。流通ルートを確認し、道内経済や物流の活性化に役と利用開始時には電子マネーの入金（チャージ）サービスは実施し

日、道内と茨城、埼玉県の全店舗で26日からJR北海道の集積回路（IC）乗車券Kitaca（キタカ）とJR東日本のIC乗車券Suica（スイカ）が利用可能になると発表された。



東京デイズニールランドのシラ城で結婚式を挙げることでできるプログラム「デイズ・ロイヤルドリーム・ウエディング」を9月に始めると発表。式後に行う東京デイズニールランドホテルでの披露宴も含み、出席者50人の場合の基本料750万円。1日1組限定（オリエンタルランド提供）

環境に配慮したマンション発売
日本グランデ
マンション企画・販売の日本グランデ（札幌）は、太陽光発電と蓄電池を備えた環境配慮型の分譲マンションを、札幌市内で24日に発売する。

豊平区豊平4の7の新築物件で、鉄筋コンクリート造り12階建て。屋上に設置した太陽光発電パネルで昼間に発電し、リチウムイオン電池に蓄電。フィットネスルームやサウナ、廊下の照明など共用部分の電気の大半をまかなう。停電時も、最低限必要な共用部分の電気は確保できる。これにより、1棟で二酸化炭素の排出量を年間約3・4割削減できる計算になるとい

NTTグループに「公正な競争」要請
総務省
総務省は23日、NTTがグループ4社の料金請求を7月から一本化できるようにする計画に、公正な競争を確保するための措置を講じるようNTT各社に要請した。ほかの通信事業者などから「組織の再統合や独占回帰につながる」と反発する声が出ている。対象は、NTT東日

十勝ワイン 飲み頃は10年後

【池田】十勝管内池田町の町ブドウ・ブドウ酒研究所は28日、3リットル入り長期熟成ワインを、190本限定で町ワイン城で販売する。静かに寝かせ続けると、8〜10年後に飲み頃を迎えるという。「10年後の還暦や孫の成人などの記念日に楽しんで」とPRしている。

町独自の品種で造った十勝ワインの赤ワイン「清見ダブルマグナム2003」で、フレンチオークの樽で3年間熟成後に瓶詰めした。通常瓶（720ミリ入り）の4本分

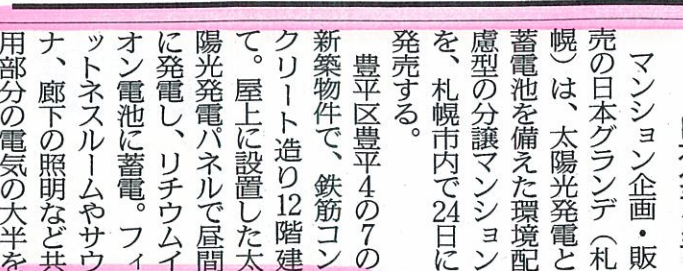
「ダブルマグナム」
ダブルマグナムは1本1万2600円で、ダブル3リットル入りゆっくりに熟成

以上量のゆっくりに熟成が進んでいるとい

今が飲み頃という通常瓶とのセットも80組販売する。

ダブルマグナムは1本1万2600円で、ダブル3リットル入りゆっくりに熟成

問合わせは町ワイン城1階のワインショップ 015・572・3046へ。



十勝ワインの清見ダブルマグナム2003（右）と通常瓶

よしのり 功典さん(58)
ンビール次期社長



強化は

海外での販売強化も今年の基本方針の一つです。

「海外での販売強化も今年の基本方針の一つです。」

海外での販売強化も今年の基本方針の一つです。

執行役員 田雅也
進部長 密部次長
第4部部長
部長
部長